

公 表 日

令和 元年 12 月 13 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和元年度新技術テーマ設定型による試行実証評価業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 村山 一弥 福岡市博多区博多駅東 2 - 10 - 7
契約年月日	令和 元年 12 月 13 日
契約業者名	(一財) 土木研究センター
契約業者の住所	東京都台東区台東 1 - 6 - 4
契 約 金 額	22,297,000円 (税込み)
予 定 価 格	22,297,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区博多駅東 2 丁目 10 - 7
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	令和 元年 12 月 14 日
履行期間 (至)	令和 2 年 3 月 27 日
備考	入札情報サービス (P P I) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

随意契約理由書

1. 件名：令和元年度新技術テーマ設定型による試行実証評価業務
2. 履行場所：福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 随意契約の相手方：
（法人名称）一般財団法人土木研究センター
（住所）東京都台東区台東1-6-4
4. 随意契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号
5. 当該業務の目的・内容及び随意契約に付する理由：
 - 1) 当該業務の目的
本業務は、公共工事等における新技術活用並びに技術開発を促進するため、新技術活用システムの枠組みを利用した技術の公募・活用・評価（テーマ設定型（技術公募））を実施するものである。
 - 2) 業務の内容
技術テーマ：「無電柱化における管路部等の低コスト化に資する技術」「道路橋の耐震性向上に資する制震ダンパー技術」について、次の資料作成及び整理とりまとめを行う。
 - ①実施テーマのリクワイヤメント
 - ②意見整理及びリクワイヤメント改善案
 - ③技術公募に関する資料
 - 3) 随意契約に付する理由
本業務は、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領について」（平成18年7月5日付国官技第87号、国官総第238号、国営整第6号、国総施第60号）に定められた大臣官房技術調査課等により設置された学識経験者等で構成された「新技術活用システム検討会議」の検討結果を踏まえ、あらかじめ公募を行い、同会議において審査基準に基づき審査された結果、令和元年8月26日付国官技第163号にて技術募集テーマ、及び第三者機関が決定され、通知されたところである。なお、審査基準、選定結果等については、国土交通省ホームページで詳細に公表されている。
以上のことから、本業務は、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、上記法人と契約を締結するものである。

（随意契約理由書作成者）

企画部 施工企画課長